

LifeKeeper for Linux v9.5.1
Single Server Protection for Linux v9.5.1
テクニカルアップデートインフォメーション

第3版



目次

はじめに	4
LifeKeeper for Linux v9.5.1の新機能・機能変更	4
■ CLIの更なる機能強化	4
■ setupの機能強化	4
LifeKeeper for Linux v9.5.1の新規サポートOS・ソフトウェア・環境	4
LifeKeeper for Linux v9.5.1において修正された重要な不具合	5
Single Server Protection での相違点	5
Single Server Protection v9.5.1の新規サポートOS・ソフトウェア・環境	5
Single Server Protection for Linux v9.5.1において修正された重要な不具合	6
既存販売製品・サービスの今後の対応方針に関するご案内	6
お問い合わせ	6
免責事項	6
著作権	7

改訂履歴

日付	バージョン	変更情報
2020/8/25	001	新規作成
2020/12/8	002	OS、ソフトウェア、環境に関するサポート情報の更新。
2021/1/19	003	OSに関するサポート情報の更新。

1. はじめに

本文書ではLifeKeeper for Linux v9.5.1 / Single Server Protection for Linux v9.5.1の新機能や機能変更、また、重要なバグ修正に関する概要をまとめたものです。それらに関する詳細な情報につきましては、リリースノートやオンラインマニュアルをご確認いただくか、ご契約の製品サポートにお問い合わせください。

2. LifeKeeper for Linux v9.5.1の新機能・機能変更

■CLIの更なる機能強化

v9.5.0から提供してきた機能強化されたCLI機能ですが、本バージョンではOracle PDBやPostfixなど、複数のRecovery Kitにおいて新たに拡張されたCLIが利用できるようになりました。詳しくは、オンラインドキュメントをご参照ください。

■setupの機能強化

setupスクリプトにLifeKeeperの構成情報を保存するレスポンスファイルの作成・変更ができる機能が追加されました。また、本機能のみを実施できるスクリプトの提供を始めます。このスクリプトはLifeKeeperのインストール対象でないサーバーでも実施することができます。詳しくは、オンラインドキュメントをご参照ください。

3. LifeKeeper for Linux v9.5.1の新規サポートOS・ソフトウェア・環境

新規にサポートされたOS、ソフトウェア、環境は以下の通りです。

[サポートOSの追加]

- SUSE Linux Enterprise Server 15 SP2
- Red Hat Enterprise Linux 8.2
- Oracle Linux 8.2
- CentOS 8.2

以下のOSは2021年1月に追加サポートされました。

- Red Hat Enterprise Linux 8.3

以下のOSは2020年12月に追加サポートされました。

- Red Hat Enterprise Linux 7.9
- Oracle Linux 7.9
- CentOS 7.9
- SAP HANA support for RHEL 8.1
- SAP HANA support for SLES 12.5

以下のOSはv9.5.0で追加サポートされています。

- SUSE Linux Enterprise Server 12 SP5
- Red Hat Enterprise Linux 7.8
- Oracle Linux 7.8
- CentOS 7.8

[サポートソフトウェアの追加]

以下のソフトウェアは2020年12月に追加サポートされました。

- PostgreSQL 13
- EDB Postgres Advanced Server 13.0
- FUJITSU Software Enterprise Postgres 12
- SAP HANA2 SP5
- SAP S/4HANA 2020

以下のソフトウェアはv9.5.0で追加サポートされています。

- EDB Postgres Advanced Server 12.0

[サポート環境の追加]

以下の環境は2020年12月に追加サポートされました。

- ヘルスチェックプローブに応答する機能の追加

Microsoft Azure の Load Balancer、Google Cloud Platform の Cloud Load Balancing を利用した構成に対して、任意のポートでヘルスチェックプローブに응答する機能を追加しました。

以下の環境はv9.5.0で追加サポートされています。

- vSphere 7.0

4. LifeKeeper for Linux v9.5.1において修正された重要な不具合

より詳細な不具合に関する情報は、リリースノートでご確認ください。ここではお客様にとって有意と思われる不具合修正情報についてご案内します。

Bug id	Description
#5381	LifeKeeper内部で使用しているOpenSSLパッケージを1.1.1gに、cURLパッケージを7.68.0に更新しました。
#4728	ファイルシステム RKでシステム異常が検出されないことがある問題を修正しました。

5. Single Server Protection での相違点

今回のv9.5.1リリースにおいて、大きな変更点は「CLIの機能強化」、「setupの機能強化」の2点となります。また、CLIの機能強化において拡張されたCLIは本バージョンよりSingle Server Protectionでも利用できるようになりました。詳しくは、オンラインドキュメントをご参照ください。

6. Single Server Protection v9.5.1の新規サポートOS・ソフトウェア・環境

新規にサポートされたOS、ソフトウェア、環境は以下の通りです。

[サポートOSの追加]

- SUSE Linux Enterprise Server 15 SP2
- Red Hat Enterprise Linux 8.2
- Oracle Linux 8.2
- CentOS 8.2

以下のOSは2021年1月に追加サポートされました。

- Red Hat Enterprise Linux 8.3

以下のOSはv9.5.0で追加サポートされています。

- SUSE Linux Enterprise Server 12 SP5
- Red Hat Enterprise Linux 7.8
- Oracle Linux 7.8
- CentOS 7.8

[サポートソフトウェアの追加]

以下のソフトウェアはv9.5.0で追加サポートされています。

- EDB Postgres Advanced Server 12.0

[サポート環境の追加]

以下の環境はv9.5.0で追加サポートされています。

- vSphere 7.0

7. Single Server Protection for Linux v9.5.1において修正された重要な不具合

より詳細な不具合に関する情報は、リリースノートでご確認ください。ここではお客様にとって有意と思われる不具合修正情報についてご案内します。

Bug id	Description
#5381	LifeKeeper内部で使用しているOpenSSLパッケージを1.1.1gに、cURLパッケージを7.68.0に更新しました。
#4728	ファイルシステム RKでシステム異常が検出されないことがある問題を修正しました。

8. 既存販売製品・サービスの今後の対応方針に関するご案内

既存販売製品・サービスに関する今後の対応方針について以下にご案内いたします。

[Generic ARK for Tomcatの今後の提供方針]

Generic ARK for TomcatはOSに同梱されるTomcatバージョンに追従することでサポートを提供して参りました。しかし、Red Hat Enterprise Linux 8以降からOSの同梱物ではなくなっており、Tomcat 8以降のバージョンに追従することが困難となりました。これらの背景より、本製品はTomcat 7のEOSをもって提供終了とさせていただきます。

9. お問い合わせ

本ドキュメントの記載内容について、疑問点等がある場合は弊社サポート窓口までお問い合わせください。なお、お問い合わせの一次窓口が弊社ではない場合があります。サポート証書にてサポート窓口を確認のうえ、適切な窓口にお問い合わせください。

<http://www.sios.com/products/bcp/lkdk/contact/>

10. 免責事項

- 本書に記載された情報は予告なしに変更、削除される場合があります。最新のものをご確認ください。
- 本書に記載された情報は、全て慎重に作成され、記載されていますが、本書をもって、その妥当性や正確性についていかなる種類の保証をするものではありません。
- 本書に含まれた誤りに起因して、本書の利用者に生じた損害については、サイオステクノロジー株式会社は一切の責任を負うものではありません。
- 第三者による本書の記載事項の変更、削除、ホームページ及び本書等に対する不正なアクセス、その他第三者の行為により本書の利用者に応じた一切の損害について、サイオステクノロジー株式会社は一切の責任を負うものではありません。
- システム障害などの原因によりメールフォームからのお問い合わせが届かず、または延着する場合がありますので、あらかじめご了承ください。お問い合わせの不着及び延着に関し、サイオステクノロジー株式会社は一切の責任を負うものではありません。

11. 著作権

本書に記載されているコンテンツ(情報・資料・画像等種類を問わず)に関する知的財産権は、サイオステクノロジー株式会社に帰属します。その全部、一部を問わず、サイオステクノロジー株式会社の許可なく本書を複製、転用、公衆への送信、販売、翻案その他の二次利用をすることはいずれも禁止されます。またコンテンツの改変、削除についても一切認められません。本書では、製品名、ロゴなど、他社が保有する商標もしくは登録商標を使用しています。